

1 次の人物カードを見て、あとの各問いに答えなさい。

㉞
外務大臣となり、1894年、
①不平等条約の一部改正に成功しました。

㉟
外務大臣となり、1911年、
②不平等条約の完全な改正に成功しました。

(1)	㉞	エ
	㉟	ア
(2)	①	イ
	②	ウ

(1) ㉞, ㉟にあてはまる人物名を、次のア～エから1人ずつ選び、記号で答えなさい。

ア こむらじゅたろう 小村寿太郎 イ いとうひろぶみ 伊藤博文
ウ いわくらともみ 岩倉具視 エ むつむねみつ 陸奥宗光

(2) 下線部①, ②の内容を、次のア～エから1つずつ選び、記号で答えなさい。

ア 治外法権を回復した。 イ 治外法権を撤廃した。
ウ 関税自主権を回復した。 エ 関税自主権を撤廃した。

- (1) イはドイツに留学し、大日本帝国憲法の草案づくりを行った人物で、1894年には内閣総理大臣をつとめていました。ウは1871年の遣欧使節団の団長をつとめた人物です。
- (2) ①はイギリスと、②はアメリカとの間で成功し、ほかの国もこれにならいました。

